

住宅計画学 (Planning of Housing)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
環境建設	選択	1年後	2	講義	目山直樹 中川明子

【授業の概要】

本科で履修した建築計画の知識をもとに、計画各論的な位置付けとしての住宅ではなく、住まいを中心とするまちづくりを意図した住宅計画について学ぶ。具体的には、建築と生活および建築と生産の関係から住まいとまちの構成原理を学習する。さらに、計画のための調査研究の手法や、既往の建築計画学の成果である寸法計画、規模計画、地域計画などの原則を理解した上で、それを応用した具体的な建築作品について考察をする。また、設計や生産計画、維持管理計画に関する新たな知見についても学ぶことで将来の実務に役立つ知識を修得する。

【学修の進め方】

講義形式で授業を行う。レポート演習課題を発表形式で2回行う。学習シートは毎回の授業の理解した内容を確認するために使用する。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	建築と生活 住まいからまちへ	建築のとらえ方と生活のとらえ方について理解する。レポート課題1について指定する。
2回	建築と生産 住まい・まちをつくる	住まい・まちをつくるしくみを理解する。
3回	建築の計画ー住まい・まちの構成原理	住まい・まちの構成原理を理解する。
4回	計画のための調査	建築に関する調査の種類と進め方を学ぶ。建築計画学研究に関するレポート演習課題を行う。
5回	寸法の計画	人間の寸法と設計の方法、知覚による空間、人間集合の空間の寸法計画を理解する。
6回	規模の計画	利用の規模、利用変動、規模計画の方法を把握する。
7回	形の計画	巨匠と呼ばれる建築家の住宅空間のデザインについて学ぶ。建築家の作品に関するレポート演習課題を行う。
8回	室内環境の計画	建築計画原論に基づく住宅の室内環境の計画方法を学ぶ。
9回	住宅の品質の確保	住宅性能表示制度について学習する)
10回	集合の計画	住居を集合させる手法を理解する。
11回	地域の計画	地域計画における住宅計画と、景観づくりについて学ぶ。
12回	計画と管理	公共住宅の計画と管理について海外と我が国の相違点を把握する。
13回	住み手参加による集合住宅デザイン	コーポラティブ住宅の実例を学習する。
14回	長期優良住宅の計画	長期優良住宅の考え方とその促進について学習する)
15回	演習：レポート課題2	住まいとまちの構成原理、建築計画の方法論、計画と生産・維持管理に関する知識の理解の程度を確認する出題。
16回	まとめ	レポートの講評を行う。

【到達目標】

住まいとまちの構成原理、建築計画の方法論、計画と生産・維持管理に関する知識を修得すること、有名建築家の作品構成原理を知ること为目标とする。

【徳山高専学習・教育目標】

C1

【JABEE基準1(1)】

d-2a

【評価法】

演習レポート(50%)×2回で評価する。
最終評価点は、受講態度・出欠状況を加味して評価する。

【テキスト】

建築計画教科書研究会編著「建築計画教科書」(彰国社)
【参考資料】
住環境の計画 1～5巻(彰国社)

【関連科目】

建築計画(本科5年)、建築設計計画学(専攻科2年)

【成績欄】

前期中間試験 前期末試験 前期成績 後期中間試験 後期末試験 学年末成績
【 】 【 】 【 】 【 】 【 】 【 】